

血管撮影装置（循環器用・汎用）及び超電導磁気共鳴診断装置の
購入及び保守に関する質問書に対する回答

令和3年7月21日

質問書の提出がありましたので、以下のとおり回答します。

表題： 仕様書について

質問内容：

1 循環器用 1-3-1について

テーブル高さに関して、弊社システム上、対応が困難な為「最低で 77.5 cm 以下」に修正を願う。

2 循環器用 1-9-1について

サブモニターに関して、弊社システム上、対応が困難な為「モニター裏面又はモニター横」に修正を願う。

3 循環器用 1-9-6について

操作室の TV モニターに関して、弊社システム上、対応が困難な為「又は 19 インチ以上のカラー液晶モニター 4 台以上」も追記、修正を願う。

4 循環器用 1-9-8について

貴院C室のサブモニター2面は、何の表示をされているか教えてほしい。

5 循環器用 1-12-3について

ジョイスティックに関して、弊社システム上、対応が困難な為、「ジョイスティックにより」の文言を削除してもらいたい。

6 循環器用 1-12-5について

表示レイアウトに関して、弊社システム上、ワンタッチでの切替が出来ない為、「ワンタッチで」の文言を削除してもらいたい。

7 循環器用 1-12-7について

1社仕様の項目の為、項目削除、「もしくは同様の機能を有すること」に修正を願う。

8 循環器用 1-13-5について

表示レイアウトに関して、弊社システム上、ワンタッチでの切替が出来ない為、「ワンタッチで」の文言を削除してもらいたい。

9 汎用 1-9-1について

サブモニターに関して、弊社システム上、対応が困難な為「モニター裏面又はモニター横」に修正を願う。

10 汎用 1-9-6について

操作室のTVモニターに関して、弊社システム上、対応が困難な為「又は19インチ以上のカラー液晶モニター4台以上」も追記、修正を願う。

11 汎用 1-9-8について

C室のサブモニター2面は、何の表示をされているか教えてほしい。

12 汎用 1-13-3について

1社仕様の項目の為、弊社システム上、対応が困難です。項目削除を願う。

13 汎用 1-14-3について

ジョイスティックに関して、弊社システム上、対応が困難な為、「ジョイスティックにより」の文言を削除してもらいたい。

14 汎用 1-14-5について

表示レイアウトに関して、弊社システム上、ワンタッチでの切替が出来ない為、「ワンタッチで」の文言を削除してもらいたい。

15 汎用 1-14-7について

1社仕様の項目の為、項目削除、「もしくは同様の機能を有すること」に修正を願う。

16 汎用 1-15-5について

表示レイアウトに関して、弊社システム上、ワンタッチでの切替が出来ない為、「ワンタッチで」の文言を削除してもらいたい。

17 汎用 1-16-7について

拡大再構成表示に関して、弊社システム上、対応が困難な為、「任意の」の文言を削除してもらいたい。

18 超電導磁気共鳴診断装置 (4) - ②、(15) - ⑦

監視カメラの項目に関して4頁(4)-②と12頁(15)-⑦に記載がある。システムに付随するカメラは4頁(4)-②、それとは別の場所に設置する監視カメラが12頁(15)-⑦の仕様項目との理解でよいか。なおシステムに付随する監視カメラはズーム機能がない。

1 了承します。については、仕様書を次のとおり変更します。

循環器用 1-3-1

テーブルの高さは、最低で 77.5cm 以下、最高で 102.5cm 以上であること。

2 了承します。については、仕様書を次のとおり変更します。

循環器用 1-9-1

検査室内のモニターは、対角 55 インチ以上のカラーモニターを装備すること。
また、モニター裏面、モニター横またはモニター上面にサブモニターを 2 面追加すること。

3 了承します。については、仕様書を次のとおり変更します。

循環器用 1-9-6

操作室のTVモニターは、24 インチ以上のカラー液晶モニター2 台以上または 19 インチ以上のカラー液晶モニター 4 台以上もしくは 32 インチ以上カラー液晶モニター1 台を装備し、正面側面透視および正面側面参照画像が同時表示可能なこと。

4 サブモニター2 面には主に正、側の透視/撮影画面、ポリグラフ、PACS 等をスイッチングで映します。

5 何らかの方法で正、側のアームが任意、簡便に同時操作できれば結構です。

循環器用 1-12-3 「ジョイスティックにより」は削除します。

6 「ワンタッチ」は考えなくて結構です。レイアウトが簡単に切り換えられれば

結構です。循環器用 1-12-5 「ワンタッチで」は削除します。

7 事前調査により、複数社システムでの納入実績を確認しておりますので、仕様の変更は行いません。

8 「ワンタッチ」は考えなくて結構です。レイアウトが簡単に切り換えられれば結構です。循環器用 1-13-5 「ワンタッチで」は削除します。

9 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。

汎用 1-9-1

検査室内のモニターは、対角 55 インチ以上のカラーモニターを装備すること。
また、モニター裏面、モニター横またはモニター上面にサブモニターを 2 面追加すること。

10 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。

汎用 1-9-6

操作室の TV モニターは、24 インチ以上のカラー液晶モニター 2 台以上または 19 インチ以上のカラー液晶モニター 4 台以上もしくは 32 インチ以上カラー液晶モニター 1 台を装備し、正面側面透視および正面側面参照画像が同時表示可能なこと。

11 サブモニター 2 面には主に正、側の透視/撮影画面、ポリグラフ、PACS 等をスイッチングで映します。

12 仕様書を次のとおり変更します。

汎用 1-13-3

数値流体力学 (CFD) 的解析機能を附属すること。

13 何らかの方法で正、側のアームが任意、簡便に同時操作できれば結構です。

14 「ワンタッチ」は考えなくて結構です。レイアウトが簡単に切り換えられれば結構です。汎用 1-14-5 「ワンタッチで」は削除します。

15 事前調査により、複数社システムでの納入実績を確認しておりますので、仕様

の変更は行いません。

16 「ワンタッチ」は考えなくて結構です。レイアウトが簡単に切り換えられれば結構です。汎用 1-15-5 「ワンタッチで」は削除します。

17 「任意の」は考えなくて結構です。汎用 1-16-7 「任意の」は削除します。

18 4頁(4)-②、仕様書12頁(15)-⑦はガントリー内の患者を観察する検査室内に設置するカメラで同一のものです。ズーム機能がなくてもシステムに付随する監視カメラがガントリー内の患者を観察することに十分な場合は、システムに付随する監視カメラで問題ありません。

(担当)

【入札説明書に関する事項】

地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部 医事・契約・訟務担当
電話:048-830-5985 FAX:048-830-4905 e-mail: a5970-06@saitama-pho.jp

【仕様等に関する事項】

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 用度担当
電話:048-536-9900 FAX:048-536-9920
e-mail: konuma.takahiro@saitama-pho.jp

血管撮影装置（循環器用・汎用）及び超電導磁気共鳴診断装置の購入及び保守に関する質問書に対する回答

令和3年7月21日

質問書の提出がありましたので、以下のとおり回答します。

表題：保守業務委託仕様書について

質問内容：

- 1 循環器用 保守点検業務委託仕様書 1
周辺機器の対象機器を明示してもらいたい。
- 2 汎用 保守点検業務委託仕様書 1
周辺機器の対象機器を明示してもらいたい。
- 3 超電導磁気共鳴診断装置 保守点検業務委託仕様書 1
周辺機器の対象機器を明示してもらいたい。

回答：

- 1 装置本体と ELCA システムを対象とします。
- 2 装置本体を対象とします。
- 3 超電導磁気共鳴診断装置本体（コイル、チラー等含む）を対象とします。

（担当）

【入札説明書に関する事項】

地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部 医事・契約・訟務担当
電話：048-830-5985 FAX:048-830-4905 e-mail: a5970-06@saitama-pho.jp

【仕様等に関する事項】

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 用度担当
電話：048-536-9900 FAX:048-536-9920
e-mail: konuma.takahiro@saitama-pho.jp

血管撮影装置（循環器用・汎用）及び超電導磁気共鳴診断装置の購入及び保守に関する質問書に対する回答

令和3年7月21日

質問書の提出がありましたので、以下のとおり回答します。

表題：入札説明書について

質問内容：

- 1 血管撮影装置 5－（3）－イ－（イ）について
取扱説明書に関して、全ての取扱説明書でなく、一部抜粋したものでよいか。
- 2 血管撮影装置 5－（3）－イ－（ウ）について
作業工程表に関して、延べ工程表でよいか。
- 3 超電導磁気共鳴診断装置 5－（3）－ウ－（ウ）
取扱説明書に関して、全ての取扱説明書でなく、一部抜粋したものでよいか。
- 4 超電導磁気共鳴診断装置 5－（3）－ウ－（エ）
納入備品の名称・型式・写真の一覧表に関して、対象範囲を教えてください。
周辺機器含めて、全ての物品になるのか。
- 5 超電導磁気共鳴診断装置 5－3－ウ－（カ）
物品の価格に関する資料とは、どのような資料か。
- 6 超電導磁気共鳴診断装置 5－3－ウ－（ク）
その他必要と認めた資料・書類とは、どのような資料か。

回答：

- 1 一部抜粋したもので支障ありません。
- 2 延べ工程表で支障ありません。
- 3 一部抜粋したもので支障ありません。
- 4 対象範囲は周辺機器を含むすべての物品です。
- 5 定価証明書等の定価が分かる資料です。
- 6 (ア) から (キ) までの書類で十分ですが、必要が生じた場合その他の書類の提出を求める場合があります。

(担当)

【入札説明書に関する事項】

地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部 医事・契約・訟務担当
電話：048-830-5985 FAX:048-830-4905 e-mail: a5970-06@saitama-pho.jp

【仕様等に関する事項】

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 用度担当
電話：048-536-9900 FAX:048-536-9920
e-mail: konuma.takahiro@saitama-pho.jp

血管撮影装置（循環器用・汎用）及び超電導磁気共鳴診断装置の購入及び保守に関する質問書に対する回答

令和3年7月21日

質問書の提出がありましたので、以下のとおり回答します。

表題： 仕様書について その2

1 血管撮影装置（循環器用） 1 - 3 - 5

テーブルの旋回角度は、メーカーにより左右への回転範囲は異なっている。当社機種では、 $+90^{\circ}$ ~ -180° の範囲での旋回であり、合計は 270° と広い旋回範囲を有している。ついては、「 -120° ~ $+120^{\circ}$ 以上」の記載ではなく、「合計 240° 以上」へ変更を願う。

2 血管撮影装置（循環器用） 1 - 9 - 1

サブモニターに関しては、通常当社は大画面モニターの背面ではなく上部に設置している。背面に設置をして、万が一の際のみに使用するのではなく、常時サブモニターも使用できることで、表示できる画面数を増やし、より効率的な画面配置を実現するためである。ついては、「モニター裏面に」ではなく、「モニター裏面もしくは上部に」変更を願う。

3 血管撮影装置（循環器用） 1 - (3)

仕様書にはチルト・クレードル機能の記載はないが、構成内訳に「(3) 頭尾/左右傾斜機能付き検査寝台一式」との記載があった。チルト・クレードル機能に関しては搭載する必要があるか。搭載する場合、寝台の最低高が変更になるため、当社の仕様は「 74.5cm ~ 102.5cm 」 → 「 79.5cm ~ 104.5cm 」となる。この場合、「テーブルの高さは、最低で 74.5cm 以下、最高で 102.5cm 以上」に関して、「テーブルの高さは、最低で 79.5cm 以下、最高で 102.5cm 以上であること。」へ変更を願う。

4 血管撮影装置（循環器用） 1 - (13)

構成内訳に「(13) コーンビーム CT 機能 一式」との記載があった。当社機種は、コーンビーム CT 機能の搭載が不可のタイプとなるが、問題ないか。

5 血管撮影装置（循環器用） 1 - (14)

構成内訳に「(14) 脳血管治療支援機能 一式」との記載があった。当該使用に関しては循環器用とのことだが、脳血管治療支援機能も搭載の必要があるか。

6 血管撮影装置（汎用） 1 - 3 - 5

テーブルの旋回角度は、メーカーにより左右への回転範囲は異なっている。当社機種では、 $+90^{\circ}$ ~ -180° の範囲での旋回であり、合計は 270° と広い旋回範囲を有している。ついては、「 -120° ~ $+120^{\circ}$ 以上」の記載ではなく、「合計 240° 以上」へ変更を願う。

7 血管撮影装置（汎用） 1 - 9 - 1

サブモニターに関しては、通常当社は大画面モニターの背面ではなく上部に設置している。背面に設置をして、万が一の際のみに使用するのではなく、常時サブモニターも使用できることで、表示できる画面数を増やし、より効率的な画面配置を実現するためである。ついては、「モニター裏面に」ではなく、「モニター裏面もしくは上部に」変更を願う。

8 血管撮影装置（汎用） 1 - 13 - 3

脳血管治療支援機能である当該機能に関しては、提案機種では搭載ができないタイプであるので、削除を願う。

9 血管撮影装置（汎用） 1 - (3)

仕様書にはチルト・クレードル機能の記載はないが、構成内訳に「(3) 頭尾/左右傾斜機能付き検査寝台一式」との記載があった。チルト・クレードル機能に関しては搭載する必要があるか。搭載する場合、寝台の最低高が変更になるため、当社の仕様は「 74.5cm ~ 102.5cm 」 → 「 79.5cm ~ 104.5cm 」となる。この場合、「テーブルの高さは、最低で 74.5cm 以下、最高で 102.5cm 以上」に関して、「テーブルの高さは、最低で 79.5cm 以下、最高で 102.5cm 以上であること。」へ変更を願う。

10 血管撮影装置（汎用） 1 - (13)

構成内訳に「(13) コーンビーム CT 機能 一式」との記載があった。当社機種は、コーンビーム CT 機能の搭載が不可のタイプとなるが、問題ないか。

11 超電導磁気共鳴診断装置（7） - ⑩

使用可能なコイルケーブル・コイルインターフェイス数はメーカーによって異なると思うが、4箇所以上という特別な意図はあるか。弊社装置は全身のスキャンが1度に行えるようなコイル構成、インターフェイスを用意しているのので、どのメーカーでも対応可能なように「最大数」という文言へ変更を願う。

12 超電導磁気共鳴診断装置（10） - ⑮

自由呼吸下でダイナミック検査を行う機能は貴院にとって非常に有用なアプリケーションと思うが、現在の仕様文言では曖昧な表現のため、明確に本機能を指定すべく、次のとおり文言変更を願う。

（修正後）

「Golden Angle 法と KWIC もしくは圧縮センシングを用いて自由呼吸下で高時間分解能ダイナミックスキャンが可能とし呼吸波形から動きを推定した再構成が可能であること。」

13 全般

契約納期について血管撮影装置は2021年12月末と記載されているが、なるべく診療に影響が無いように据え付け期間を重複させないようにする必要はあるかと思う。据え付け期間を翌年2月程度まで延長しMRIと同じ3月に検収いただくことについて検討を願う。

14 全般

保守について「周辺機器のうち発注者が他社製の機器を指定している機器を除く」との記載があるがメーカーによっては付属品が自社製のものがある。同条件になるよう主となるモダリティ以外を見積対象外とするよう検討を願う。

- 1 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
循環器用 1-3-5
テーブルの旋回角度は、左右合計 240° 以上であること。
- 2 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
循環器用 1-9-1
検査室内のモニターは、対角 55 インチ以上のカラーモニターを装備すること。
また、モニター裏面、モニター横またはモニター上面にサブモニターを 2 面追加すること。
- 3 チルト・クレードル機能は必要ありません。
- 4 CBCT 機能は必要ありません。
- 5 循環器用に脳血管治療支援機能 一式は必要ありません。
- 6 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
汎用 1-3-5
テーブルの旋回角度は、左右合計 240° 以上であること。
- 7 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
汎用 1-9-1
検査室内のモニターは、対角 55 インチ以上のカラーモニターを装備すること。
また、モニター裏面、モニター横またはモニター上面にサブモニターを 2 面追加すること。
- 8 仕様書を次のとおり変更します。
汎用 1-13-3
数値流体力学 (CFD) 的解析機能を附属すること。
- 9 チルト・クレードル機能は必要ありません。
- 10 CBCT 機能は必要ありません。

- 11 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
超電導磁気共鳴診断装置（7）－⑫
同時使用が可能なコイルのすべての組み合わせを可能とするコイルケーブル・コイルインターフェイス等を最大数有すること。
- 12 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。
超電導磁気共鳴診断装置（10）－⑮
「Golden Angle 法と KWIC もしくは圧縮センシングを用いて自由呼吸下で長時間分解能ダイナミックスキャンが可能とし呼吸波形から動きを推定した再構成が可能であること。もしくはこれと同等の撮像技術を有すること。もしくはこれと同等の撮像技術を有すること。」に変更します。
- 13 了承します。ついては、仕様書を次のとおり変更します。ただし、更新する装置を早期に使用開始したいため、可能な限り早く設置していただきたく願います。
循環器用 5. 納入期限
令和4年3月31日
汎用 5. 納入期限
令和4年3月31日
- 14 血管撮影装置：循環器用は装置本体と ELCA システム、汎用は装置本体を対象とします。
超電導磁気共鳴診断装置本体（コイル、チラー等含む）を対象とします。

（担当）

【入札説明書に関する事項】

地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部 医事・契約・訟務担当
電話：048-830-5985 FAX：048-830-4905 e-mail：a5970-06@saitama-pho.jp

【仕様等に関する事項】

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 用度担当
電話：048-536-9900 FAX：048-536-9920
e-mail：konuma.takahiro@saitama-pho.jp